



令和7年度室蘭工業大学公開講座実施要項

- 1 講座名 言語学・民族学・考古学からみる北海道とその北方地域
- 2 企画概要 北海道とその北方地域の歴史や文化に目を向け、言語学・民族学・考古学の観点から紹介します。
【第1回】〈沿海地方～アムール〉 デルス・ウザーラとその世界
【第2回】〈北海道〉 縄縄文文化の考古学：縄縄文パラダイスだった噴火湾
【第3回】〈サハリン〉 サハリン先住民と北海道
- 3 対象・定員 一般（高校生以上）・10名
- 4 日 時 令和8年2月13日（金）13:30～15:00
令和8年2月20日（金）13:30～15:00
令和8年2月27日（金）13:30～15:00
- 5 場 所 教育・研究2号館 Q棟 Q502 会議室
- 6 時間数 計4.5時間
- 7 講 師 室蘭工業大学 准教授 山田 祥子
北洋大学 教授 種石 悠
- 8 講習内容 3ページに記載のとおり
- 9 受講料 計1,000円（教材費等を含む）
※ 受講決定後、納入済みの費用は、取り消しをされた場合でも返還できませんのでご注意願います。
- 10 申込期間 令和8年1月7日（水）～1月21日（水）17時まで
- 11 申込方法
- (1) ホームページ上の「申込フォーム」から申込みいただくか、「E-mail」・「FAX」のいずれかの方法で、下記申込先に「受講申込書」を提出、又は同内容をお知らせください。
- (2) 開講決定後、受講者には受講決定通知を送付しますので、受講料については、期限までに本学指定の金融機関に振込み願います。なお、振込手数料は、受講者の負担となりますのでご了承願います。
- (注1) 受講申込みが所定の人数に満たない場合には、当該講座の開講を見送る場合があります。
- (注2) 「受講申込書」の提出だけでは、受講の受付は完了しません。受講料の納入が所定の期日までになかった場合には、受講ができませんのでご注意願います。

12 申込先

〒050-8585 室蘭市水元町 27 番 1 号

室蘭工業大学 研究推進課 社会連携係

E-mail chiiki@muronan-it.ac.jp

FAX 0143-46-5031 TEL (直通) 0143-46-5016

(※受講受付トラブル回避のため、電話での受講申込みは受けかねますのでご了承ください。)

https://muronan-it.ac.jp/society/extension_lecture/

(室蘭工業大学トップページ>一般の方へ>公開講座)

13 個人情報の取扱いについて

(1) 本学では、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」に基づき、保有する個人情報の保護に努めます。

(2) 受講申込みにより得られた個人情報は、受講者及び申込者への連絡等当講座実施、参加状況の統計の際に使用し、他の目的には使用しません。

14 その他

(1) 自動車で来学される方は、本学所定の駐車場をご利用ください。

(2) 開講日数の 7 割以上の出席者に対して修了証書を交付いたします。

(3) 受講者に事故、トラブル等が生じた場合、本学では責任を負いかねますので、あらかじめ保険等への加入をおすすめします。

(4) 本事業開催中に主催者が撮影した写真を、主催者が作成する広報や報道記事等に掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

(5) 本講座は、北海道教育委員会（北海道立生涯学習推進センター）が主催する「道民カレッジ」の連携講座の指定を受けています。

講習内容

講 義 日 程	内 容
令和 8 年 2 月 13 日 (金)	<p>【第 1 回】 〈沿海地方～アムール〉 デルス・ウザーラとその世界民族学・言語学の観点から、黒澤明監督による映画「デルス・ウザーラ」(1975) を題材に、沿海地方からアムール川下流域(現在のロシア連邦沿海地方およびハバロフスク地方にまたがる地域)の民族状況を紹介します。</p> <p>講師：山田 祥子(室蘭工業大学・准教授)</p>
令和 8 年 2 月 20 日 (金)	<p>【第 2 回】 〈北海道〉 縄縄文文化の考古学：縄縄文パラダイスだった噴火湾</p> <p>考古学の観点から、北海道の縄縄文文化の特徴について、噴火湾地域の遺跡の情報も交えながら紹介します。</p> <p>講師：種石 悠(北洋大学・教授)</p>
令和 8 年 2 月 27 日 (金)	<p>【第 3 回】 〈サハリン〉 サハリン先住民と北海道</p> <p>民族学・言語学の観点から、サハリン(樺太)島の先住民族の言語や文化、そして、彼らの暮らしと北海道に暮らす私たちとの関係性について紹介します。</p> <p>講師：山田 祥子(室蘭工業大学・准教授)</p>

主 催：室蘭工業大学

後 援：室蘭市、室蘭市教育委員会、登別市、登別市教育委員会、伊達市、伊達市教育委員会、
(公財) 室蘭テクノセンター